

令和7年5月

学校名 海星中学高等学校
校長名 溝上 輝 幸

令和6年度 学校自己評価について（報告）

このことについては、下記の通りです。

記

1 令和6年度学校自己評価結果の概要（特筆すべき結果等）について

『生徒による学校評価』（4段階評価 4が上）

評価内容の概要	R 6
◎ 教育活動全般（生徒指導・進路指導・宗教活動）	3.13
◎ 学習活動（授業・課題・個別対応）	3.23
◎ 教育環境（清掃・学校安全・設備）	3.27
◎ 生徒活動（生徒会活動・HR活動・部活動・等）	3.22
◎ 自己評価（基本的な生活週間・授業態度・思いやり）	3.32

『保護者による学校評価』（4段階評価 4が上）

評価内容の概要	R 6
◎ 教育活動全般（生徒指導・進路指導・保健指導）	3.16
◎ 学習活動（授業・課題・個別対応）	3.09
◎ 教育環境（清掃・学校安全・設備）	3.25
◎ 開かれた学校づくり（文書連絡・HP・地域活動）	3.33
◎ 部活動・生徒会活動・ボランティア活動・等	3.16

- 生徒は「自己評価」や「教育環境」を比較的高く評価しており、学校生活に対して前向きな自己認識と、学習・生活環境への満足感がうかがえる。
- 一方で、保護者は「開かれた学校づくり」を最も高く評価しており、学校の対外的な取り組みが伝わっていることがわかる。
- ただし、学習活動に関しては生徒より保護者の評価が低く、課題や個別満足度に温度差がある可能性がある。

2 生徒による授業評価の概要について 実施の有無 : 実施 (○) 未実施 ()

『授業評価』 全教員の平均値 (4段階評価 4が上)

	R 4	R 5	R 6
高校	3.56	3.51	3.62
中学校	3.46	3.51	3.61

『授業評価』 教科別 (5教科) の平均値 (4段階評価 4が上)

	国語	地歴公民	数学	理科	英語
高校	3.63	3.72	3.75	3.56	3.46
中学校	3.67	3.69	3.54	3.45	3.73

3 「よかところ推進プロジェクト事業」他について

- 「長崎居留地歴史まちづくり協議会」と協働し、「周辺の空き地対策」としての「さか農園」、「居留地地区の観光地としての取り組み」としての「薔薇チャレンジ」の活動において、外部評価委員会から「A」の評価をいただいた。
- 「国際青年平和交流」事業において、「海星国際平和交流団」が事業委託を受けた。特に本校生徒、イタリア人学生、大学生、被爆体験者を交えた「Peace Talk」は、被爆体験者の方から「非常に良い取り組みであるので、もっと広報をしてほしい」という要望をいただいた。

4 学校自己評価結果の公表方法について

- 育成会総会で文書化したものを配布。育成会総会后にHPにて公表する。

5 令和6年度学校自己評価結果の活用方法・令和7年度学校運営への反映について

- 教科ごとの分析会を開き、授業力の向上に役立てている。
- 分析会の報告をもとに、教職員研修を行う。

6 (参考) 学校関係者評価の実施について (実施の有無): 実施 (○) 未実施 ()